

製品データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 製品の名称 | : クルマの消臭力 一発消臭 : クルマの消臭力 一発消臭 大型車用 |
| 会社名 | : エステー株式会社 |
| 住所 | : 東京都新宿区下落合2-4-6 |
| 担当部門 | : 品質保証グループ |
| 電話番号 | : 0120-145-230 (お客様相談室) |

2. 組成、成分情報

| | |
|-------------|--|
| 単一製品・混合物の区分 | : 混合物 |
| 成分 | : 緑茶抽出物消臭剤 グレープフルーツ種子抽出物 エタノール 香料 (無香タイプはなし) 窒素ガス (噴射剤) LPG (噴射剤) |

3. 危険有害性の要約

| | |
|-------|--------------------|
| 分類の名称 | : 引火性高圧ガス 引火性液体 |
|-------|--------------------|

4. 応急措置

| | |
|-----------|--------------------------------------|
| 皮膚へ付着した場合 | : 石鹼で洗浄後、水洗いをする。 |
| 目に入った場合 | : こすらずに直ちに清浄な水で最低15分洗浄した後、医師の診察を受ける。 |
| 吸引の場合 | : 直ちに使用を中止し、気分が回復しない場合は医師の診察を受ける。 |

5. 火災時の措置

: 大量の水噴霧、粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。
缶の破裂による火災の拡大等に注意する。

6. 漏出時の措置

: 漏出防止、除外などの作業は、換気を良くして必ず保護具手袋を着用する。
漏出時はウエス等で拭き取り、回収する。残りを洗剤と水で洗い流す。
取り扱い後は手、顔などを良く洗い、うがいをする。

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----|---|
| 取扱い | : 高温と火気に注意。炎天下では使用しない。 人体に害があるので、吸入しないこと。 使用不可な車種には使用しない。 同時に2本以上使用しない。 噴射口の位置に注意し、レザー部分、計器類、オーディオ、カーナビなどに直接かからないように注意する。 グローブボックスやフロントガラスに薬剤が付着した場合は拭き取る。 走行中は使用しない。 取扱説明書をよく読み、用途以外には使用しない。 容器が破損しないように乱暴な取り扱いは避ける。 人体に向けて噴霧しない。薬剤(霧)を吸い込まないように注意する。 シミになる恐れがあるので、シート等内装に直接スプレーしない。 |
|-----|---|

使用後は10分以上換気し、換気が終わるまでは車内で喫煙など火を使わない。

保管 : 破裂の原因になるので、直射日光の当たる場所や加熱源の付近、40℃以上になる場所、火気の近くに置かない。
フロントウインドやリアウインドの近辺、座席の上などに置かない。
幼児の手の届くところに置かない。
錆の発生しやすい水や湿気の多い場所には置かない。
運転の妨げになるので運転席の下や足元に置かない。

8. 暴露防止及び保護措置

: 特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : エアゾール形態
内容物 : 特有の香気を持つ液体

10. 安定性及び反応性

安定性 : 常温下において安定している。
高温下では缶内の圧力上昇により破裂することがある。

11. 有害性情報

: 製品としてのデータなし。

12. 環境影響情報

: 製品としてのデータなし。

13. 廃棄上の注意

: 使い切ってから、火気のないところでガスを完全に抜き、廃棄する。
廃棄物として適正に処分する。
焼却処分しない。

14. 輸送上の注意

: 倒立及び横積みでの輸送は禁止。
衝撃を避け、容器の温度を40℃以下にする。火気厳禁。
国連分類 : UN1950 クラス2.1 (引火性高压ガス)

15. 適用法令

消防法 : 危険物 第4類 アルコール類(水溶性)
労働安全衛生法 : 当製品は、「主として一般消費者の生活の用に供される製品」に該当するため、文書交付義務の対象外です。
化管法(PRTR) : 当製品は、「主として一般消費者の生活の用に供される製品」に該当するため、排出量の把握、文書交付義務の対象外です。
高压ガス保安法 : 同法の適用除外となるエアゾール製品

16. その他の情報

: 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は一般的な通常取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

発行 : 2010. 2. 26
改訂 : 2016. 4. 21 (6版)
2016. 6. 27 (7版)